



## ご あ い さ つ

山口新聞社

社 長 井 上 正 明

高校スポーツの祭典「第72回山口県高等学校総合体育大会」がいよいよ開幕します。選手の皆さんは高校生活の運動部活動の集大成として大会に挑まれることでしょう。山口新聞が高校スポーツ発展のため共催に加わり、今年で13回目となります。大会の共催者として、これまで選手たちの汗と涙、感動と喜びを多くの方々に伝えようと取り組んでまいりました。

今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、競技種目によっては無観客で実施されることと思います。「応援に来てくれた家族、友人、関係者に懸命な姿を見せたい」「選手の晴れ舞台を見届け、声援を送りたい」との思いが叶わない中、山口新聞は皆さんの思いに応えるべく、熱戦の模様を記事や写真で県民の皆さんに伝えていきます。

昨年は大会を中止せざるを得ない状況となりました。今年出場される皆さんももちろんですが、昨年の大会を部活動の集大成にと取り組んできた先輩たちは、さぞ無念だったことと思います。2年ぶりの大会、選手の皆さんには先輩たちの分も含めて精一杯のパフォーマンスを見せてくれるものと期待します。県内約1万人の生徒たちが参加、31の競技に挑みますが、例年にも増して多くのドラマと好記録が生まれることでしょう。

この大会は、7月24日から開催される全国高校総体「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」（福井、新潟、富山、石川、長野の5県と和歌山県〈ヨット競技〉）の予選を兼ねた大会でもあります。今大会や中国大会などを勝ち上がった県代表選手たちの全国大会での活躍ぶりも、大きく紙面を使って伝えていきます。皆さんの中からは2024年フランス・パリで開かれるオリンピックを目指す選手もいることでしょう。高校総体をきっかけに、世界にはばたく選手が数多く誕生することを願っています。

最後になりましたが、選手の皆さんのご健闘を祈念いたしますとともに、コロナ禍の厳しい状況の中、日々の指導や大会運営に取り組んでおられる山口県高等学校体育連盟の先生方、各競技団体関係者の皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げまして、あいさつといたします。